

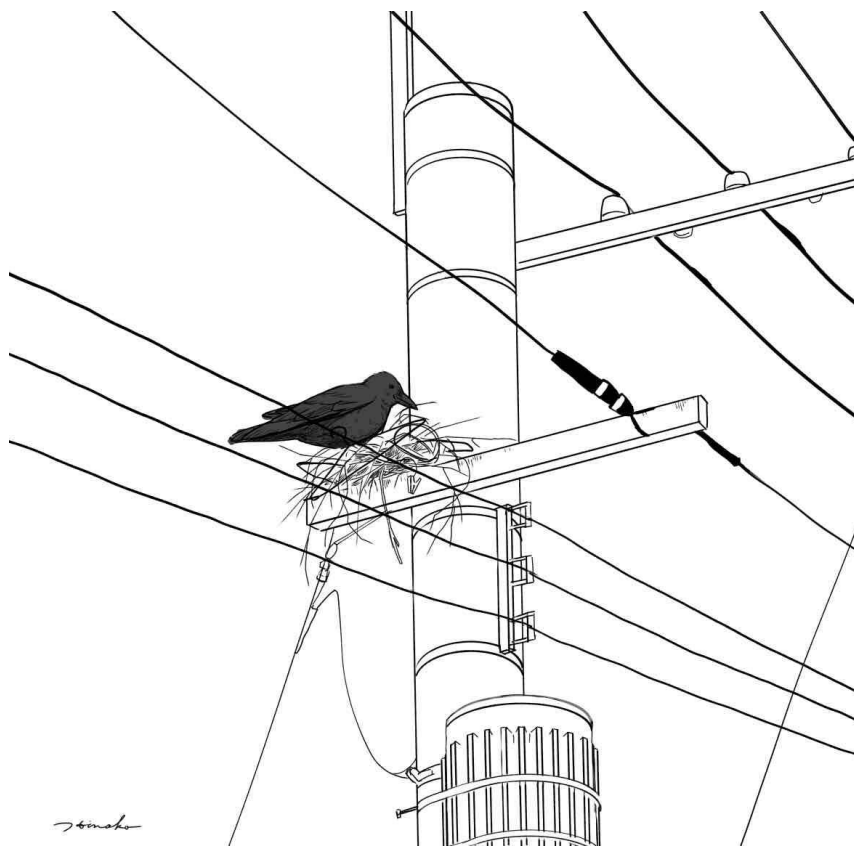
カラスのイメージ



みなさんは、このうちわを見て、どう思いましたか？ 私は、「真っ黒…、カラス…、なんか怖い…」と思いました。でも、このうちわは怖いうちわではなく、ラッキーなうちわなのです。

東京都府中市にある大國魂神社では、毎年7月20日に「すもも祭」というお祭りが行われます。このうちわは、そのときに配られるものです。このうちわであおぐと、畑や田の虫がいなくなったり、病気の人が元気になったりします。玄関に置くと、悪いものが家に来なくなったりもします。カラスのうちわが幸運を呼ぶのです。日本で一番古い歴史の本『古事記』でも、カラスは神の使者として、道案内をしています。昔、カラスはよい鳥、すぐれた鳥、つまり、幸運を呼ぶ鳥と思われていたのです。

しかし、^{いま}今、カラスは^{わる}悪いイメージに^か変わってきています。ゴミの^{なか}中の^た食べものを探して^{きが}ゴミを^ち散らかしたり、^{ひと}人を^{おそ}襲ったり、^な鳴き^{ごえ}声がうるさかったりするからです。^{たし}確かにこれらは^{ひと}人にとって^{めいわく}迷惑なことです。ただ、カラスにも^{じじょう}事情があります。カラスが^ちゴミを^{なま}散らかすのは、カラスが^{なま}生^{だいす}ゴミが大好きだからです。さらに、^{ひと}人を^{こうげき}攻撃するのは、カラスが^こ子どもを^{つく}作る^{はんしょくき}繁殖期に^{たまご}卵や^こ子どもを^{まも}守ろうとするからです。そして、カラスが^{かん}うるさいと^{かん}感じるのは、カラスは^{かいわ}会話をすることができ、「カーカー」「クアックアツ」「ガアガア」など^ないろいろな^な鳴き^{ごえ}声を出すからです。^{ひと}人もそれを^{りかい}理解して、^みゴミを^み見えないようにしたり、^{はんしょく}繁殖^き期にはカラスに^{ちか}近づかないようにしたりすることが^{ひつよう}必要でしょう。



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

いぜん、カラスは^{やま しんりん す}山や森林に住んでいました。しかし、人が^{ひと やま しんりん かいほつ}山や森林を開発して人の住む場所^{ひと す ぼしよ}にしてしまったために、カラスの住む場所^{す ぼしよ すく}が少なくなりました。また、人の住む場所^{ひと す ぼしよ}にはエサになる生ゴミ^{なま}がたくさんあります。公園^{こうえん}の木や電柱^{き でんちゆう}、高いビル^{たか}に巣^すをつくこともできます。人が住む場所^{ひと す ぼしよ}は、カラスにとっても住みやすい環境^{かんきよう}なのです。

カラスは動物^{どうぶつ}の中でも知能^{なか}が高く、イヌやネコより頭^{ちのう たか}がよいといわれています。頭^{あたま}が良くて、幸運^よを呼ぶ鳥^{こううん よ とり い}と言われていたカラス。人の都合^{ひと つごう}で勝手にイメージ^かを変えられて、カラスはどんな気持ち^{きも}でいるのでしょうか？

(876字)

(2021.7 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「大國魂神社」ウェブサイト

<https://www.ookunitamajinja.or.jp/matsuri/7-sumomo.php>

- ・「豊中市」ウェブサイト「カラスのことをもっと知ろう」

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kouen_midori/yaseicyouju/karasu_mottoshirou.html

- ・「國學院大學」ウェブサイト「神武天皇を導いた三本足のカラスーヤタガラス」

<https://www.kokugakuin.ac.jp/article/145336>

(2021.9.14 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この

作品さくひんを利用りようする場合は、ほ「たどくのひろば」をしゅつてん出典としてしめ示してください。

例れい 出典しゅつてん: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.